



2021年12月24日

各位

会社名 ラオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 健作
(コード番号 8202 東証第2部)
問合せ先 コーポレート統括本部副本部長 佐藤 学
(TEL 03 - 5405 - 8859)

債権の取立不能又は取立遅延のおそれ及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社の関連当事者である蘇寧潤東国際投資管理有限公司に対する債権について、下記のとおり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じたので、お知らせします。

また、上記の債権に対する貸倒引当金繰入額を特別損失として計上することと致しましたので、以下のとおりお知らせします。

記

1. 当該取引先の概要

(1) 名 称	蘇寧潤東国際投資管理有限公司	
(2) 所在地	RMS 05-15, 13A/F SOUTH TOWER WORLD FINANCE CTR HARBOUR CITY 17 CANTON RD TST KL, HONG KONG	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 楊 洋	
(4) 事業内容	投資コンサルティング業	
(5) 資本金	10百万香港ドル	
(6) 設立年月日	2016年1月18日	
(7) 純資産	20,652,981.48元(2020年12月31日現在)	
(8) 総資産	262,487,206.70元(2020年12月31日現在)	
(9) 大株主及び持株比率	蘇寧潤東股權投資管理有限公司(100%)	
(10) 相手方との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は当該取引先に金銭の貸付を行っております。
	関連当事者への該当状況	当社の取締役である張康陽及びその近親者が議決権の100%(間接保有を含む)を所有する蘇寧控股集团有限公司が議決権の80%を間接保有しております。

2. 取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯

当初、2019年12月に手元資金の有効活用を目的として、蘇寧潤東国際投資管理有限公司の事業投資資金について、当該取引先の親会社である蘇寧潤東股權投資管理有限公司の保証を受けた上で、35億円の貸付を行ってまいりました。

その後、元本のうち10億円については回収を行っており、これまでの利払いの受取りも行われておりましたが、2021年12月31日に期日を迎える当該取引先に対する貸付残高25億円について、当該取引先より経営環境が厳しいこと

を理由として期日時点での元本返済及び利払いならびに現時点での合理的な返済計画の提示が出来ない旨の通知があり、当社の債権に対する不確実性が高まったものであります。

3. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

債権の種類	金額	連結純資産に対する割合
貸付金	2,500 百万円	9.06%
未収利息	31 百万円	0.11%

(2020年12月期連結純資産 27,575 百万円)

4. 連結決算における特別損失の計上及び今後の見通し

(1) 連結決算における特別損失の計上

債権回収不能見込額である 2,531 百万円に対して貸倒引当金繰入額を 2021 年 12 月期第4四半期連結会計期間(2021 年 10 月 1 日～2021 年 12 月 31 日)において計上することといたしました。

(2) 今後の見通し

上記債権につきましては、当該取引先の親会社である蘇寧潤東股権投資管理有限公司及び蘇寧潤東股権投資管理有限公司の親会社である蘇寧控股集团有限公司(※1)より債務保証を受けており、蘇寧置業集团有限公司(※2)の子会社である南京銀河房地產開發有限公司の株式による担保契約を締結しており、債権回収に向けて連帯保証人からの回収や担保権の実行による回収努力を継続してまいります。

※1 当社の取締役である張康陽及びその近親者が議決権の 100%(間接保有を含む)を所有しております。

※2 当社の取締役である張康陽及びその近親者ならびに蘇寧電器集团有限公司が議決権の 100%を所有しております。

5. その他

当社グループは3期連続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。しかしながら、上記債権は当連結会計年度以前に実行されたものであり、また、当社グループは当第3四半期連結会計期間末において現金及び預金 10,965 百万円を保有し、当該重要事象を解消するための対応策を実施していることから、当第3四半期連結会計期間末において継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

また、現時点においても事業運営に当面に渡って必要となる運転資金を確保しております。

以上